

「昭和30年代の桜まつりから」

写真提供：上原定子

大正・昭和初期から花見の名所 ～柏尾川プロムナード～



撮影（上・下）：海野道男

「昭和46年の柏尾川の様子（上・下）」写真撮影：相澤詔二



撮影：海野道男



「昭和46年の柏尾川の桜並木」

写真撮影：相澤詔二

柏尾川の桜は、横浜開港より3年前の1856年、堤防を改修した記念に植えられました。明治期にいったん枯れましたが再度植樹し、昭和初期には関東でも有数の桜の名所になりました。その木も第二次大戦末期に薪炭用に伐採されますが、戦後、2,000本の苗木が植えられています。

1970年代後半からは改修工事で半数以上を伐採し、代わりに十年ものの若木350本を植えました。

2003年度から2008年度にかけても、区は54本を対象に再生計画を行い、剪定や伐採、新規植樹だけでなく、根元の改善などにより樹勢の回復も試みています。市民ボランティアも活躍しています。